

件 名

地域と連携・協働した教育の推進について

提出理由

地域と連携・協働した教育の推進の取組である「おがわ学の構築・実践」について別紙のとおり報告します。

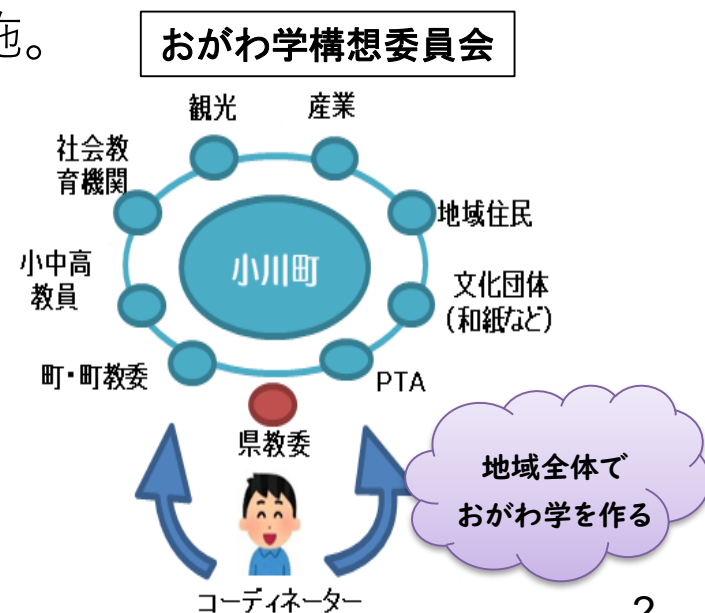
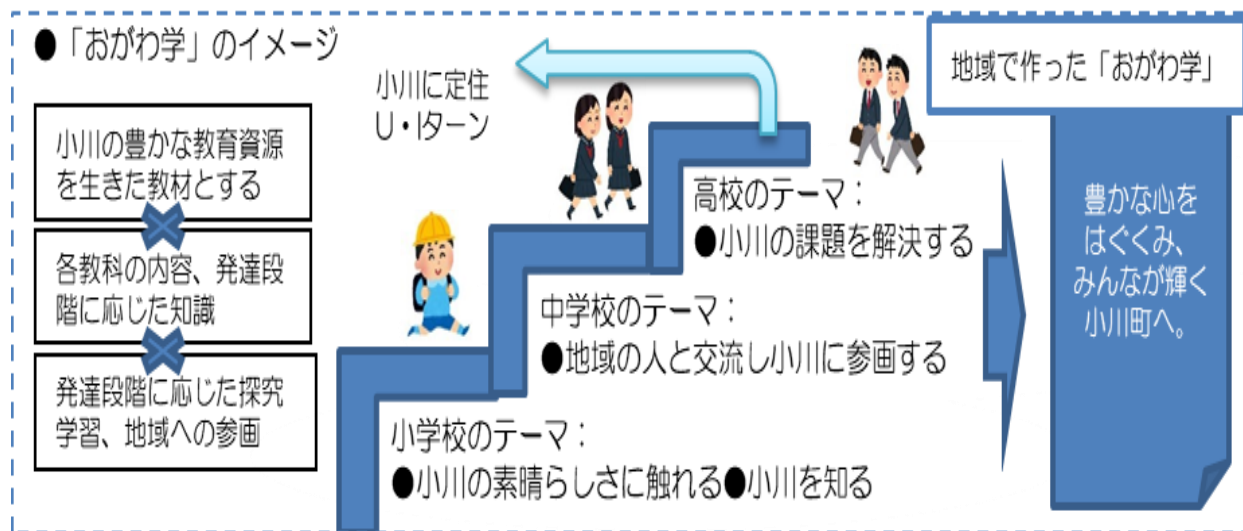
概 要

- 1 概要
- 2 おがわ学で目指す児童生徒像
- 3 おがわ学の取組
- 4 取組の成果
- 5 今後の方向性

地域と連携・協働した教育の推進について 「おがわ学の構築・実践」

1 概要

- 小川町の小・中学校、高等学校の児童生徒が、町の地域資源を題材として、地域の歴史や文化、産業等について知り、段階的に学びを深めていきながら、地域活動への参画などを行っていく。
- 「おがわ学」を通し、小川町に対して愛着や誇りを高め、地域課題の解決に取り組む能力を育む。
- 文部科学省の指定事業として令和元年度から実施。



2 おがわ学で目指す児童生徒像

目指す
児童生徒像

自ら課題を発見し、深く考え、主体的に判断することができる児童生徒

小川町に対して愛着や誇りを持ち、小川町を含む地域に深く関われる児童生徒

多様な人々と協働し、課題の解決に取り組むことができる児童生徒

3 おがわ学の取組

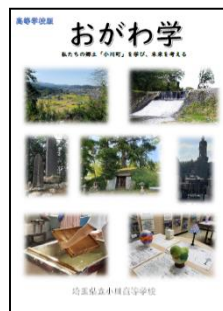
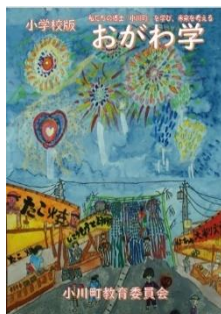
授業づくり

テキスト作成

テキストの
活用・実践

公開授業・
研究協議会

おがわ学
フォーラム



小川で学ぶ
小川を活かす

11/20 (土)
11/27 (土)

おがわ学フォーラム

「おがわ学」は、地域の素材を基にした授業を通じて、町が抱えている地域課題に気づき、課題解決の糸を繋ぎ、子供から未来まで世代を超えて、町民が誇りを育む小川町と小川校・中津校・高野が一緒になって取り組む学びの場です。

日時 2021年11月20日(土) 13:00～
27日(土) 午00～16:00

会場 小川高等学校・町立小川学校・埼玉伝統工芸会館

内容 おがわ学の授業公開・実践発表、おがわ学に係る作品の展示

小川和紙フェスティバル 同時開催

主催 おがわ学構築委員会 後援 埼玉県教育委員会

(1) 授業づくり

目指す児童生徒像を実現するために、小学校から高等学校にかけて体系的に学ぶ授業づくりを実施

＜和紙を活用した授業例＞



【小学校4年 社会】

商工会と連携し七夕まつりについて話し合う様子



【中学校3年 総合的な学習の時間】

和紙を用いた折り染め体験の様子

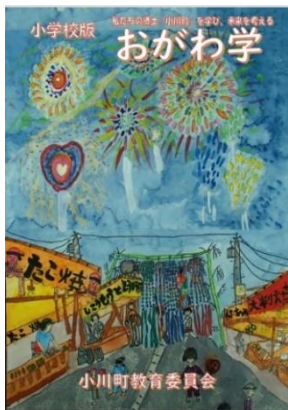


【高校3年 総合的な学習の時間】

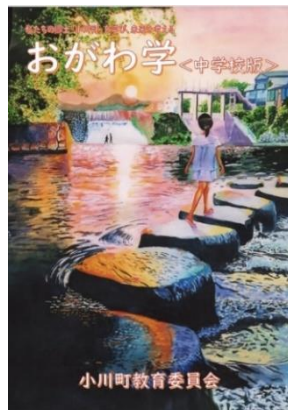
製品試作のための紙漉きの様子

(2) テキスト作成

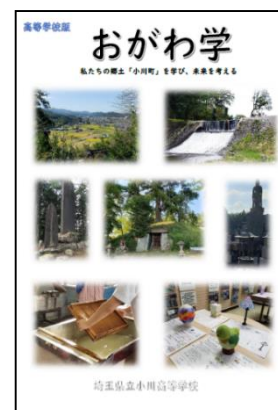
小・中学校、高等学校の各段階に応じた学習内容を設定し、児童生徒が主体的に学習に取り組めるよう教職員と地域の方々が協力して作成



【小学校版】



【中学校版】



【高等学校版】

(3) テキストの活用・実践

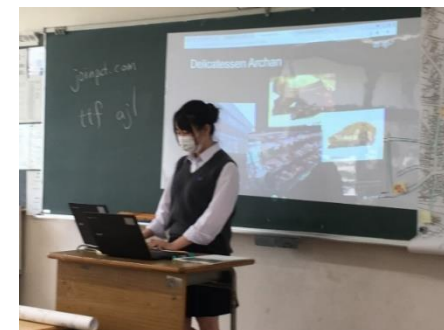
テキストに基づいて課題を設定し、授業で実践

【取組例】小川町PR映像をつくろう！！（高校3年総合的な探究の時間）

現状：小川町には、多くの魅力があるが、国内外に伝えきれていない

解決策：小川町の魅力を英語で伝える映像を作成する

- ①課題設定 小川町役場で町の現状を調査
- ②情報収集 町内のフィールドワーク
- ③整理・分析 町の魅力を伝える映像を作成
- ④まとめ・表現 地域住民へのプレゼンテーション



【校内発表】



【地域住民への発表】

(4) 公開授業・研究協議会

各校でおがわ学の授業を公開し、町内の小・中学校、高等学校の教職員が校種を越えて授業改善について意見交換



(5) おがわ学フォーラム

- ・ 令和3年11月20日、27日に小川高校、小川町内小・中学校等で開催
- ・ 公開授業の実施や児童生徒による学びの成果の発表

■小川町内小・中学校、高等学校の公開授業（各学校）



■児童生徒の成果発表（埼玉伝統工芸会館）



【小・中学校の取組及び作品展示】

【中学生の成果発表】

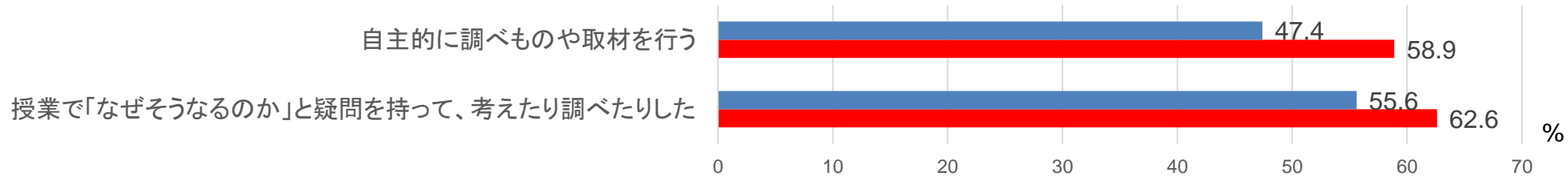
【高校生の成果発表】

4 取組の成果

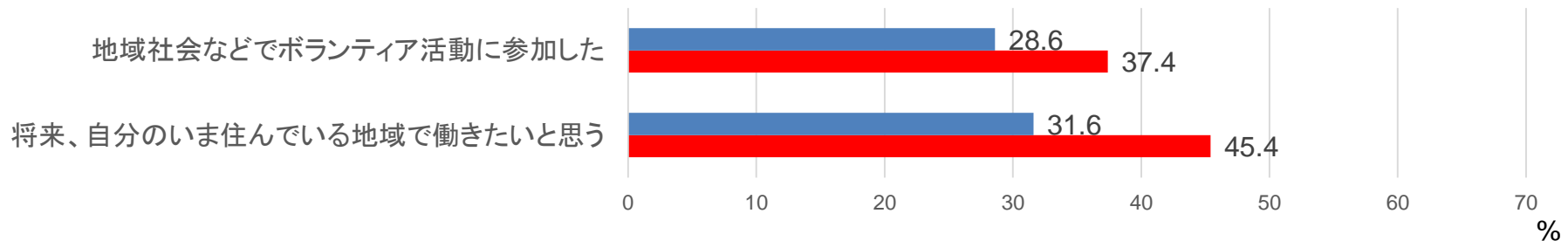
子供たちの変容

- 町の良さや課題を自分の事と捉え、主体的に学ぶようになってきている。
- 小川町により一層、愛着と誇りを持つようになってきている。
- 多様な人々と関わり、協力しながら課題の解決に取り組むようになってきている。

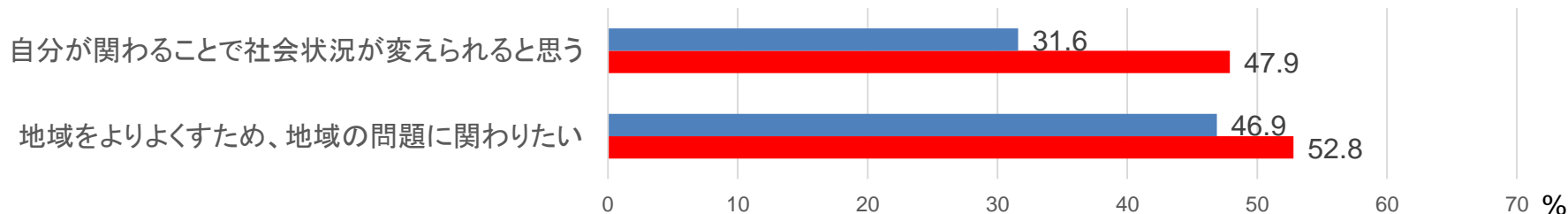
■自ら課題を発見し、深く考え、主体的に判断することができる児童生徒



■小川町に対して愛着や誇りを持ち、小川町を含む地域に深く関われる児童生徒



■多様な人々と協働し、課題の解決に取り組むことができる児童生徒



5 今後の方向性

(1) 子供たちが主体的に行動できる学習の充実

- ・おがわ学の授業内容の研究・実践
- ・新たな地域資源を加えた「おがわ学テキスト」への改良

(2) 持続可能な体制づくり

- ・地域との連携・協働体制の活性化
- ・人材バンクの活用

(3) 地域と連携・協働した学びの全県への普及、展開

- ・おがわ学フォーラムの開催を通じて、好事例を発信
- ・学校と地域の連携・協働の取組への支援

学校と地域の連携・協働をより一層推進！